

2009

5

No. 44

Miyakojima City
Public Relations

広報

みやこ島



モズク、おいし〜い!

～「モズクの日」流しモズク～



4月19日の「モズクの日」にちなみ、宮古島産モズクのおいしさを知ってもらおうと、4月16日に市役所の玄関前で「流しモズク」が行われました。

漁場から収穫したばかりの新鮮なモズクが次々と流され、大人だけでなく、子どもたちも割り箸片手に「おいしい!」と歓声をあげていました。

この「流しモズク」は、毎年4月の第3日曜日の「モズクの日」にちなんで宮古島漁協の主催で行われているものです。

今月の主な内容

平成21年度 当初予算P2

定額給付金及び子育て応援特別支援金についてP5

お知らせ(春の行政相談週間ほか)P8

■ホームページ <http://www.city.miyakojima.lg.jp/>



平成21年度当初予算

予算の特徴

一般会計 314億4000万円
前年度比 3億1500万円減

今年度の一般会計予算額は、314億4000万円、昨年より3億1500万円(1.0%)の減額となりました。特別会計額は124億4693万円、昨年より2億1669万円(1.7%)の減額となっています。

自主財源率の向上が課題

歳入予算を財源別に見ると、市税などの自主財源は17.5%(前年度比0.1%増)、普通交付税、国・県支出金などの依存財源が82.5%(前年度比1.2%減)となっています。

また今年度は、葬祭場建設事業や製水施設整備事業により、市債が16.4%増となっています。

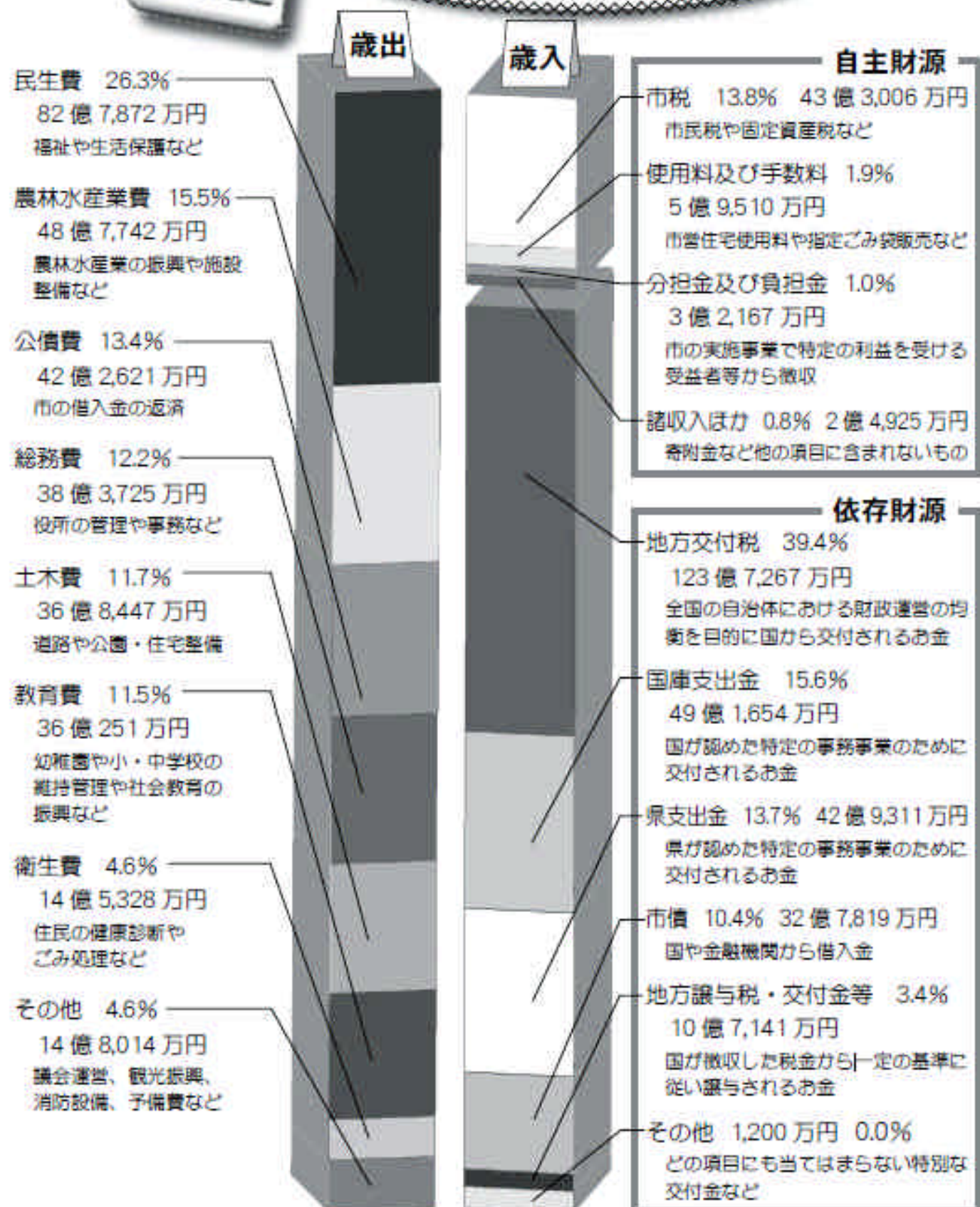
設整備事業により、市債が16.4%増となっています。

補助事業費は6.5%減

歳出予算は、普通建設事業費に含まれる補助事業費が、農林事業や土木関連事業の減少により、前年度比6.5%減になったことなどから、普通建設事業費全体では前年度比0.1%減となっています。そのほか、人件費や老人保健特別会計、農漁業集落排水事業特別会計などがそれぞれ予算減となっています。



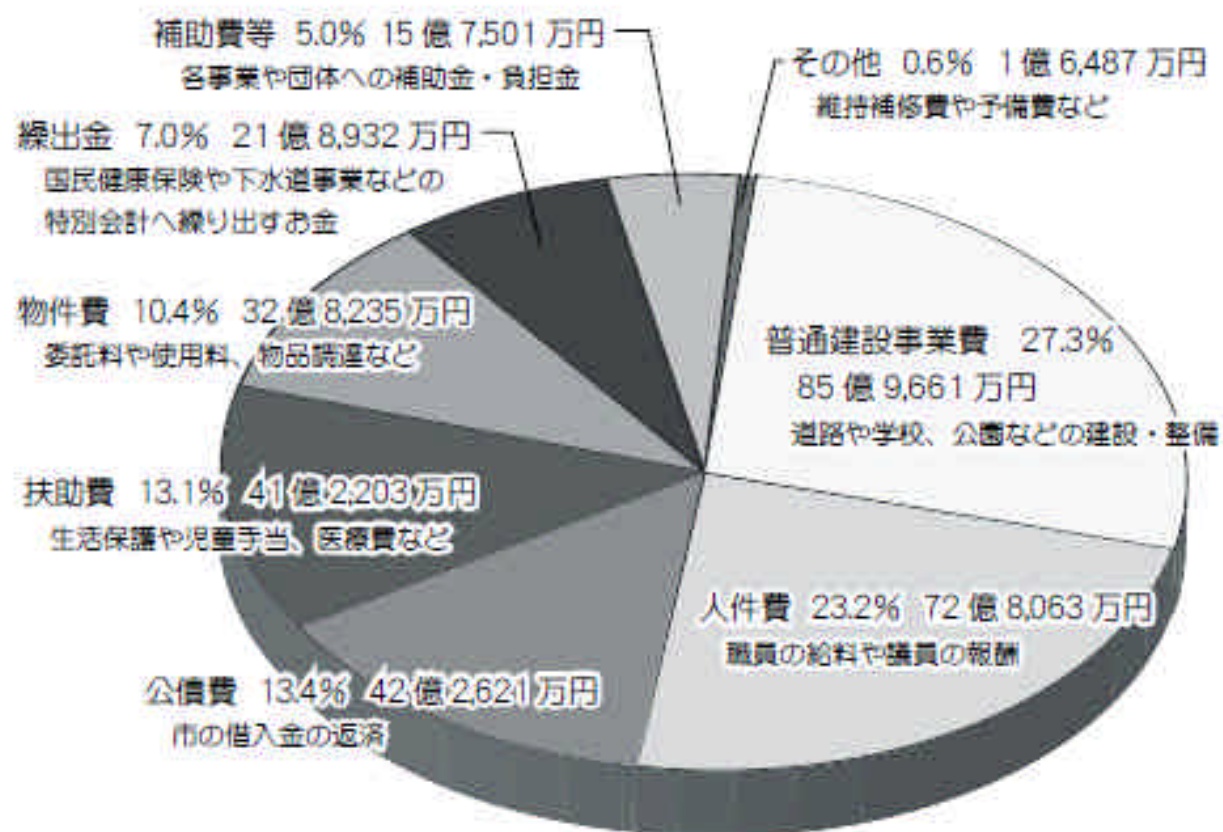
一般会計 314億4,000万円



各会計予算総括票

会計名	予算額	増減率
一般会計	314億4,000万円	-1.0%
特別会計	124億4,693万円	-1.7%
国民健康保険事業特別会計	65億2,860万円	-3.8%
港湾事業特別会計	2億1,931万円	-10.5%
老人保健特別会計	979万円	-97.8%
農漁業集落排水事業特別会計	5,447万円	-13.8%
公共下水道事業特別会計	5億6,748万円	-0.7%
介護保険特別会計	46億5,573万円	12.6%
後期高齢者医療特別会計	4億1,155万円	0.3%

宮古島市の平成21年度予算案が3月定例議会で可決されました。今年度の当初予算は、人件費や公債費の抑制により、昨年に引き続き前年度比減額予算になります。その内容を紹介します。



- エコアイランド推進事業
- 環境モデル都市事業
- 全日本トライアスロン宮古島大会
- 特定地域コミュニティ再構築活性化事業
- 宮古島市公立保育所建設事業
- 老人クラブ関係助成事業
- 子防接産事業
- 妊婦健診事業
- 環境保全対策事業
- 葬務場等建設事業
- 農地・水環境保全向上対策支援事業
- 経営構造対策事業
- 流域育成林整備事業
- 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業
- 畜産振興対策事業
- 伊良部・池間漁協製氷施設整備事業
- 離島漁村再生支援交付金事業
- 有機質肥料購入補助事業
- 街路整備事業
- 公営住宅整備事業
- トゥリバー地区海浜緑地整備事業
- 公共下水道幹線・枝線工事
- 竹原地区区画整理事業
- 教育指導事業
- 学力向上対策事業
- 校舎改築事業(北小・鏡原中)
- 全国高校総体準備事業
- 文化財保護活動事業
- 放課後子ども教室推進事業
- 体育団体補助事業

今年度は、人件費や公債費の抑制等により、前年度比で3億1,500万円の減額予算となっております。しかし、6年後の平成27年度以降は、合併したことによる地方交付税の特例分が段階的に削減されていくこととなりますので、これまで以上に歳出予算の見直しを図るとともに、基金等への積み立てを行っていかねばならず、今後も厳しい財政運営が求められるものと見込んでおります。

宮古島市総務部財政課
72-3751

宮は避けられない状況です。職員一同、今後とも財政計画等に沿った効率的かつ効果的な行政運営を目指し、徹底した財政改革に取り組みたいと考えています。市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

定額給付金及び子育て応援特別手当の申請について

【定額給付金】

【給付額】
一人当たり1万2千円(※基準日において65歳以上または18歳以下の場合2万円)

【受給対象】
受給資格判定基準日(平成21年2月1日)で①または②に該当する方
①市の住民基本台帳に記載されている
②市の外国人登録原票に登録されている(不法滞在者及び短期滞在者は対象外)

【子育て応援特別給付金】

【給付額】
一人当たり3万6千円

【受給対象】
世帯に属する3歳以上18歳未満(平成2年4月2日～平成17年4月1日に生まれた)の子が2人以上あり、かつ、特別手当支給基礎児童のうち①第2子以降である②平成21年度における小学校就学前(平成14年4月2日～平成17年4月1日生まれ)の子

- 受付期間：5月1日(金)～10月31日(土) ※窓口への持参は6月1日(木)より受付
- 受付窓口：宮古島市定額給付等対策室(平良庁舎2階) ☎73-1996
- 受付時間：毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
- 必要書類：①と②の両方が必要 ※コピーでも可
①世帯主の本人確認ができる書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)
②振込を希望する口座の通帳(コピーの場合、金融機関名、貯金種目、口座番号、口座名義人が確認できる面をコピーすること)

【給付までの流れ】

- 5月1日以降に市役所から「申請書」が各世帯に届く
- 必要書類を「申請書」に同封された返信用封筒に封入し、ポストに投函 ※切手不要、必要書類は上記参照
- 市役所が申請書を受領してから、「3週間～1か月」ほどで口座に入金 ※現金支給を希望する場合、給付は7月以降に市役所窓口で行います

「振り込め詐欺」にご注意!

市や県、総務省から、給付のためにATMの操作をお願いしたり、手数料などを求めることは絶対にありません。また、市以外の機関から給付手続きのために世帯情報や銀行の口座番号などの個人情報をお訪ねすることは絶対にありません。

給付事務で、住民と直接関わるのは市の職員のみです。県や総務省、市役所の委託業者等を名乗る電話・郵便が届いた場合は、迷わず市役所または宮古島警察署へご相談下さい。

◆宮古島警察署 生活安全課 ☎72-0110

平成21年度 駐留軍等労働者 事前募集

【資格】 県内在住の満18歳以上の方

【受付】 ◆インターネット：24時間通年受付
◆窓口：5月1日(金)から通年受付 9:00～6:30 ※土日・祝日・年末年始除く

【応募】 ◆インターネット：労務管理機構HP
◆窓口応募：指定の応募用紙に必要事項を記入して下記へ申し込み

【申込・問合せ先】 駐留軍等労働者労務管理機構 沖縄支部 ☎098-921-5532

宮古島地区矯正展の開催について

全国各刑務所において、受刑者が丹誠込めて制作した作業製品の展示即売を実施します。多くの市民のご来場をお待ちしております。

日時：5月23日(土) 10:00～16:00
5月24日(日) 10:00～15:00

場所：中央公民館

お問合せは 沖縄刑務所 ☎098-948-1653

うまねがい!がまねがい!

宮古島の話題

【The Topics】



第25回 全日本トライアスロン宮古島大会 写真特集

4月19日、宮古の春の風物詩、全日本トライアスロン宮古島大会が開催されました。25回という節目の開催にあたる今大会には、海外12カ国を含む国内外から1400人余のアスリートが出場し、スイム、バイク、ランの合計200.195kmを14時間で走破する過酷なレースに挑戦しました。



海・風・太陽(ていだ) 熱き想い 君を待つ

ヒバリのさえずりに、うりずんを見る。街中には、久しく感じない安らぎの音色 (PN. 鳥あえず)

宮古島市担い手育成総合支援協議会 農業経営改善計画認定書交付式

3月26日、認定された農業者に市から「農業経営改善計画認定書」が交付されました。

これは、農業の担い手の積極的な育成を目的に、農業にやる気と意欲のある、職業として農業に取り組んでいる方を市町村が認定し、重点的に支援を行う制度です。

今回の認定では、4法人と個人19人に認定証が交付され、宮古の農業の発展に期待が寄せられました。



認定書交付者(敬称略)
法人: 成徳養殖場、長岡ファーム、博愛さとつきび生産組合、池間農産
個人: 前泊忠、仲宗根英公、上地克吉、徳福浩吉、伊良部和博、家岡博和、宮里弘市、伊藤民子、下地浩、平良勝巳、上原敏、池間広安、平良広正、眞志聖憲徳、仲里長造、伊佐志、仲地恒夫、下地博和、下地輝男

平成20年度宝くじ助成金事業 池間、前里添自治会に機材を購入

宝くじ助成事業を活用して、池間自治会と前里添自治会が使用している公民館の機材購入を行いました。今回、助成金で購入した機材は、池間自治会が放送設備一式、イス120脚、テーブル20台、前里添自治会がイス70脚、テーブル40台です。これらの新しい機材は、地域の方々や老人会の活発な活動のため利用頂くことになります。これからも、同事業などを推進し、地域の活性化に貢献していきます。



左: 池間自治会購入機材
下: 前里添自治会購入機材



アスリート達の過酷なレースを支えたのは、およそ5,000人ボランティアと沿道の多数の声援でした。コース上には常に「ワイドー(頑張れ)ワイドー(頑張れ)」の声があふれ、アスリート達の力走を後押ししていました。

レースは、最終出走者1,441人(男子1,239人、女子202人)で、完走者が1,316人。完走率は91.3%。総合優勝はミッチェル・アンダーソン選手(ドイツ)、女子優勝はタマラ・コズリナ(ウクライナ)でした。



上: ミッチェル選手
右: タマラ選手



プランコに娘と二人乗り? 心も体も一緒に風になって飛ぶんだあ (PN. ビヨビヨママ)